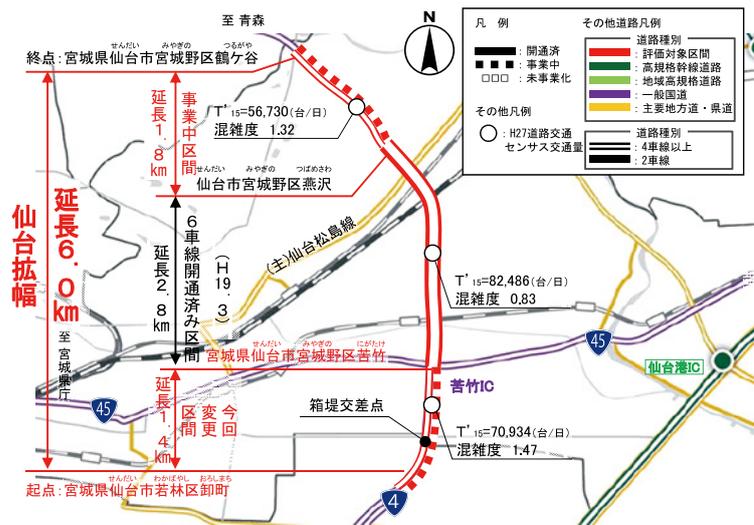




地域連携で国も動かし、よりよい市民生活の実現へ向け前進しています！

▶ 国道4号線バイパスの拡幅工事

平成27年、29年、31年の定例会・予算審査特別委員会や宮城県知事との懇談など継続的な訴えの結果、国道4号線の慢性的渋滞緩和、また津波避難の備えのための拡幅・高架化(苦竹IC～卸町の1.4km)が決定しました。今後も六丁の目、蒲町、霞目、若林の各交差点の渋滞等解決のため、国・県と連携して改善への努力を続けて参ります。



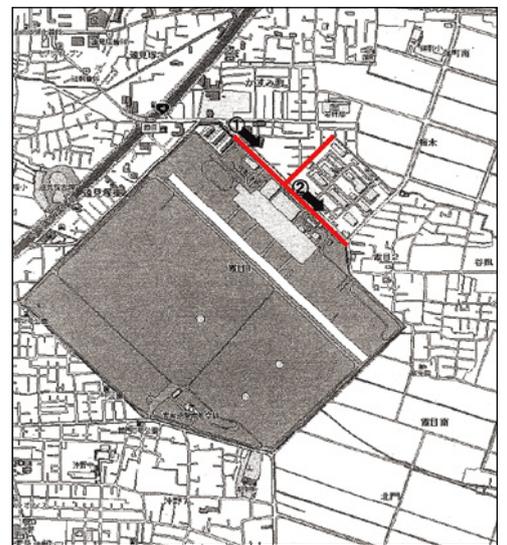
▶ 仙台市東部ほ場整備地区の交通事故防止対策

ほ場整備後、六郷・七郷地区で拡張された農道は交通量が増加し車両等のスピードも上がったため、交差点で交通事故が多発し、早急な事故防止対策の要望がありました。市や県、国に働きかけ、路面標示と一時停止標識を設置しました。



▶ 霞目駐屯地周囲の道路改修に係る交付金の確保等

霞目駐屯地の周囲の道路環境は大きく変わり、安全に関する課題がありました。また、災害時には地域住民の安全と救助と物資の拠点となる霞目駐屯地の機能発揮のため、地域と一体となって市と国に具体的な構想を提示し、国からの交付金が決定しました。周辺地域は半世紀ぶりの大規模な改修となります。今年度は調査・設計。数年内の工事着手を目指します。



▶ 沖野四丁目南バス停留所を改善

「沖野四丁目南」バス停留所の待機場所が狭く危険なことは、地域の長年の課題でした。



子どもから高齢者にわたる利用者の安全を確保するため、要望活動に取り組んでこられた町内会長さんをはじめとする地域の皆さんとともに、国・市・区との調整を進めた結果、待機場所の拡大と手すりつきの階段を新設できました。誰もが安全で安心なまちづくりを地域と関係機関が一体となって進めます。



地域の皆さまのお声を受けて、生活環境の改善・整備が着々と進んでいます！

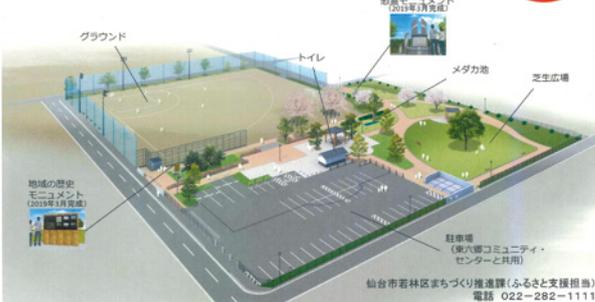
六郷東部地区の安らぎとひとの流れの創出

地域再生のためには、子どもたちの元気と健全育成が必要とのお声を受け、震災後、東六郷小学校跡地に応急的にグラウンドを復旧しました。残念ながら東六郷小学校は閉校となりましたが、地域のご意見を取り入れ、学校跡地に新たなコミュニティの拠点となる「東六郷コミュニティ広場（夜間照明灯付き・当初予算額118,000千円）」を整備します。令和2年（2020）度の完成を目指します。

東六郷コミュニティ広場

地域の皆様のご意見をもとに、東六郷小学校跡地を整備します。

【完成イメージ図（2019年2月時点）】

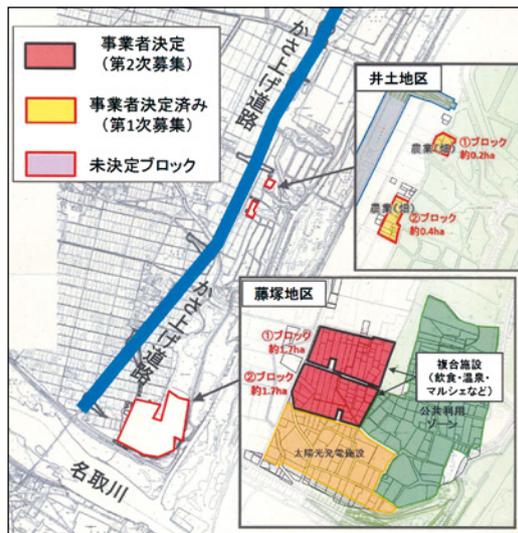


2019年度
～2020年度
工事予定

東六郷コミュニティ広場・完成イメージ図

また、平成26年に提言し保存が実現した東谷地干潟（井土浦）を、将来的には国指定仙台海浜鳥獣保護区（井土浦特別保護地区）と相まった汽水域のビオトープ（水に触れ自然の生態系を観察できる空間）として整備したいと思っています。

今後は、八木山動物園や仙台市科学館等で生育している「井土メダカ」を広場で復活させるほか、仙台市の百年の杜づくり事業、冒険広場、歴史をつなぐ五柱神社が鎮座する藤塚地区の民間複合施設（飲食・温泉・マルシェなど）に加え、隣接する名取市の「かわまちてらす閑上」などとの一体的な連携・交流を進めていきたいと考えています。



三本塚・井土集会所の再建

三本塚町内会と井土町内会では集会所が被災しました。大震災で経験した助け合う力の大切さを次世代にも伝え保つことが求められています。共助のためのコミュニティ形成の緊急性が高いことを訴え、今年度の県と市の被災地域交流拠点施設整備事業を適用した再建が決定しました。今年秋の県道塩釜巨理線のかさ上げ（東部復興道路）概成とともに、安全安心が高まるよう伴走します。

その他、六郷地区の要望対応事例（抜粋）



沖野・六郷地区の雨水排水の向上に取り組んでいます



上飯田一丁目事故多発交差点への車両通行帯を示す白色ドットの標示

公式
ウェブサイト



<https://www.kiku-taka.jp/>



六郷と七郷をつなぐ仙台東高校前歩道の延長整備



沖野中学校南側道路の安全対策を要望中



沖野二丁目交差点の交通事故防止対策